

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年1月21日

## 日常臨床情報：新型コロナ迅速診断検査

### 【松崎雑感】

尾身氏が、コロナ検査なしでも「症状のある者」はコロナと診断すべきと発言しています。欧米で初期の感染爆発時、新型コロナ感染の定義をPCR陽性者だけでなく、「新型コロナに合致する症状」のある者を含めた疫学調査論文が発表されました。新型コロナ流行時、インフルエンザがほぼ影を潜めた事で、発熱がある場合、それだけで新型コロナと診断しても、それほど間違いはないだろうという考えです。ただし、これはPCR資源が不足しているための「窮余の一策」だったのです。尾身氏がオミクロン感染に直面して政府に直言すべきことは、経済力のある日本では、PCRをしっかり行え、という事でしょう。

## 日常臨床情報：新型コロナ迅速診断検査

Drain PK ( Departments of Global Health and Medicine, University of Washington, Seattle) . **Rapid Diagnostic Testing for SARS-CoV-2. N Engl J Med.** 2022 Jan 7. doi: 10.1056/NEJMcp2117115. Epub ahead of print. PMID: 34995029.

### 【要旨】

「迅速」と言っても、迅速抗原検査だけでなく、PCR検査も含む。

PCRは発病の数日前から陽性となる。発病から1～2か月経ってもPCRが陽性になる場合があるが、感染力のある生きたウイルスが存在する可能性は極めて低い。

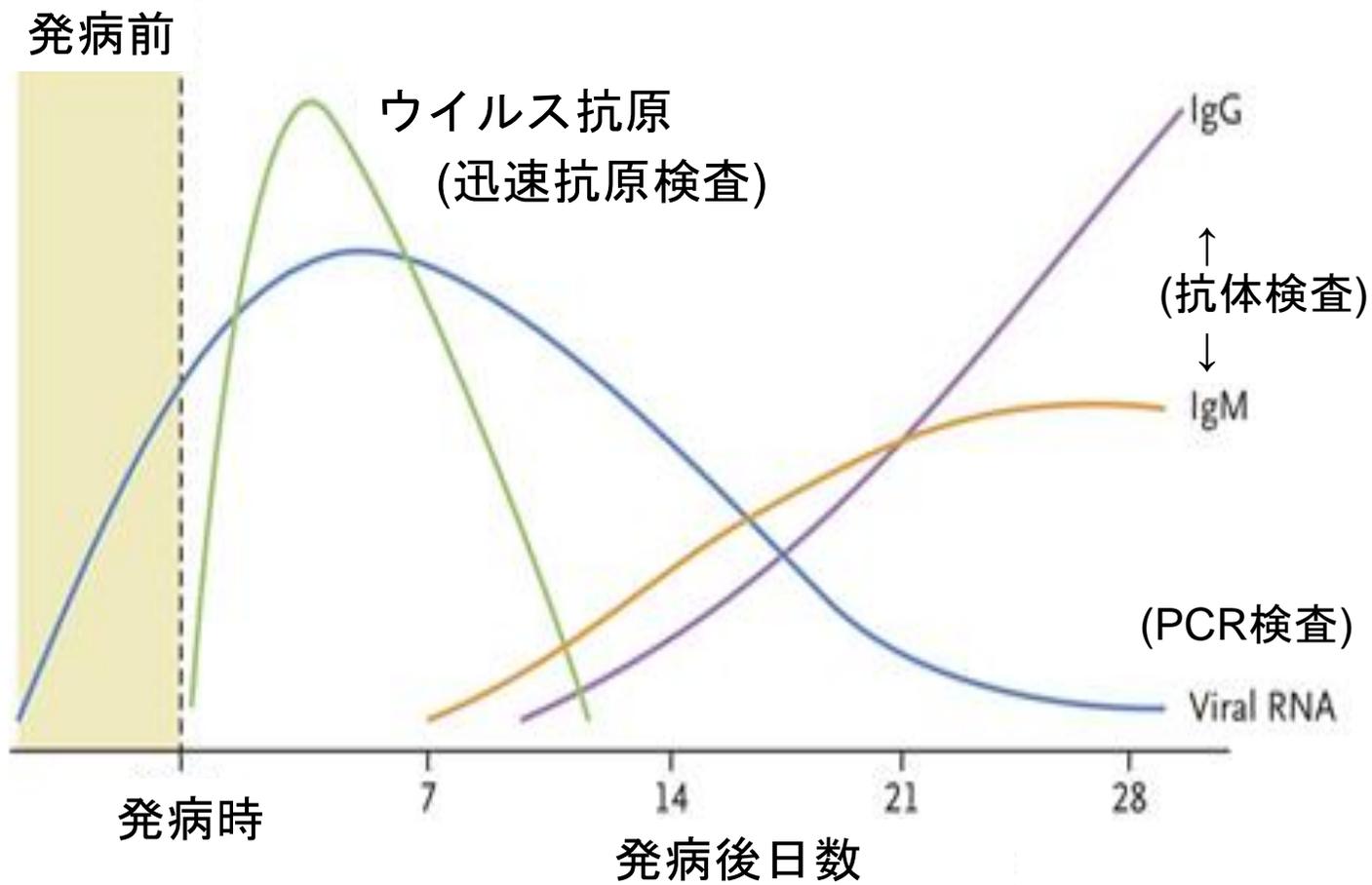
迅速抗原検査は発病直後は陰性のことが多い。IgGなどの抗体検査は、少なくとも過去数か月前に感染があったかどうかを示す。

スライド4枚目のシエーマが参考になります。

## 要点

- 新型コロナ診断のためにFDAが認可した迅速診断検査（RDTs）には、ウイルスの遺伝子を検出する核酸増幅検査（いわゆるPCR検査）と新型コロナウイルスのタンパク質に反応する抗原ベースのイムノアッセイ（いわゆる迅速抗原検査）がある。
- RDTsは、新型コロナ感染に合致する症状のある人々と、新型コロナ感染者の濃厚接触歴があるが無症状の人々および感染レベルの高い地域や状況にいる人々における新型コロナ感染の有無を明らかにするために実施される。
- 症状のある場合、可能な限り検査を行い、結果がわかるまでは隔離を行い、もしRDTsがマイナスでも、検査前感染確率が高い場合は再検査する必要がある。
- 濃厚接触歴があるが無症状の人々においては、濃厚接触から5～7日目にRDTsがマイナスの場合、その2日後に再検査すること（そしてそれもマイナスなら隔離を終了できる：松崎追加）。
- 新型コロナワクチン接種を完了していない人々（mRNAワクチンなら1回接種だけ、あるいは2回接種から2週間経過していない場合：松崎追加）が濃厚接触者となった場合、検査結果が出るまで自己隔離する事。もし陽性の結果が出た場合、自己隔離を続け、ヘルスケア担当者に新型コロナ患者と濃厚接触があり感染したと伝えること。

# 検査法別 時間経過と 成績変動



ウイルス培養陽性期  
(二次感染可能)

PCR陽性期

抗原検査陽性期

抗体レベル上昇期

